



■平成27年度通常総会が開催されました

6月20日（土）14時より、NPO法人金澤町家研究会の通常総会がギャラリー&カフェ棕で開催されました。

会員数72名に対して、46名の出席者・委任状を得て、昨年度の事業報告、収支報告、監査報告、および今年度の事業計画、収支計画案が承認されました。なお、今年度は役員が任期満了による選任の年となるため、現役員の継続案が提案され、承認されました。

閉会后、金澤町家流通コーディネート事業、金澤町家巡遊、優良金澤町家に関する活動報告と、倉石智典氏（株式会社MYROOM 代表）による講演会が開催されました。講演会には、37名の参加がありました。

夜の懇親会では、主計町「魚常」に23名が集い、倉石氏を交えて長野や金沢の話題に花を咲かせました。



通常総会の様子

【講演概要】

●エリアストックリノベーション「あたらしいまちのカタチと関わり」

大学で経営組織マネジメントを学んだ後、観光企画や不動産仲介業の仕事を経て、新幹線開業を機に長野に戻り、実家の工務店を継ぎました。仕事をしているうちに、古民家再生事業に興味を持ち、長野市旧中心市街地の「善光寺門前エリア」で不動産会社の事務所を構え、空き家のリノベーション事業を始めました。

初めは利用者がなかなか見つからず、初年はゲストハウスとブックカフェの2件が成立したのみでしたが、1件決まると見学会などを通して縁が続いていきます。4年で約80件の物件契約が成立しました。最近では、月1回、まち歩きをしながら5~10軒の物件を紹介する見学会を開催しています。毎回20人くらいの参加があります。6~7割が県外の方で、特に30代女性が多いです。2時間見学の後、2時間活用に関する意見交換会を行っていますが、外部の人から町の良さを見つけてくれることがよくあります。

相談は個別に行います。自分が不動産業、設計、施工を全て担当します。売上利益は7割が建築で賄っており、不動産の利益は少ないです。また、1軒ずつのオーナーが営業マンの役割も果たします。コーディネートが悪いと早く退去してしましますが、良いとユーザーも営業マンになります。ユーザー登録者は現在約100人います。また、事業に関わりたい人が集まって、1つの会社で1物件を扱っています。一人よりチームで行うことにより、お互いの良い点を吸収できるからです。

改修は、店舗やゲストハウスなどの事業としての利用の場合、当初はテナント（ユーザー）予算で行っていました。200万円前後のものから500万円程度で家賃は4~5万円程度です。そのうち大家が基本的構造部の改修を負担するようになりました。住宅としての利用だと、改修には、より多くの予算が必要となり家賃が高くなるので、購入してもらった方がよくなります。

テナントとしてゲーム会社に移住してきた時、イベントを開催し、地域に知ってもらい認知度が高まりました。始めはアーティストのテナントが多かったです。アーティストはどこでも仕事ができるからです。その後、カフェや商店、住居としての利用もされるようになりました。

始めは一人で始めた事業ですが、やりたい人が集まり、集まると面白くなります。まちづくりの意識で始めたわけではないのですが、地域資源の活用、テナントによる新たな産業など、まちづくりの意味合いを持ってきたようです。



倉石智典氏

■「金澤町家巡遊」今年も開催します！

今年で8回目となる「金澤町家巡遊」が、9月19日（土）～9月23日（水・祝）の日程で開催されます。今年のテーマは「町家に住む」。おもに以下の3つを柱にイベントを行います。

- ・ためにしに町家に住んでみる【おためし町家】
- ・住みやすくすてきに改装された【いまどきの町家】
- ・昔ながらの町家に住み続ける【町家を住み継ぐ】

「おためし町家」は7月下旬より始まっており、町家を買いたい方、特に興味のない方、取材も兼ねての方、ご家族やご夫婦、ひとり暮らしの方など、年齢もタイプもさまざまな方々に、改修された小ぶりな町家に、ためにしに約一週間ずつ住んでいただきます。

「いまどきの町家」や「町家を住み継ぐ」では、ふだんは見られない改修町家や住み継がれる町家を見学できるツアーを多数企画しております（予約制）。

今年は、「カフェ&ギャラリー椋」を拠点町家とし、インフォメーションの他、期間中は台湾喫茶や東山に来春オープンするカフェ「豆月-mamezuki-」の一日だけの出張喫茶もお楽しみいただけます。町家ショップの品々を販売する「町家ショップSHOP」やおためし町家の結果発表やトーク、最終日の夜にはクロージングパーティも行います。イベントの詳細は「金澤町家巡遊」ホームページでもご覧になります。是非、ご参加ください！！



イベントガイド表紙

■金澤町家の寄付をいただきました

安江町にある金澤町家が当研究会に寄付されました。彦三の大火後の昭和6年頃に建築されたものです（町家だよりタイトル帯の写真）。切妻の黒瓦屋根で、妻面に伝統的な意匠を残す、良好な近代和風の建物です。現在、不要品の撤去を行っています。この後、修繕の計画と今後の利活用について検討していきます。

■優良金澤町家候補を募集します！

今年も優良金澤町家の推薦を募集いたします。「優良金澤町家」は、外観に歴史的な様式をよく留め、実際に利活用されている町家を対象とし、認定証と家屋の前面に掲出する表示プレートを贈呈させていただいています。平成22年以降、認定軒数は112軒となりました。

自薦・他薦ともに歓迎いたします！金澤町家研究会までご一報下さい。

公募締切：平成27年10月9日（金）



優良金澤町家
表示プレート

■優良金澤町家紹介コーナー

◇金澤東山 月天心（東山3-10-2）

町家巡遊2008の「住みたい町家を探そう」で紹介された築80年の町家を改修し2009年に開業しました。町家の表構えが和菓子店の雰囲気ぴったりです。三重県で営んでいましたが金沢に移転してきました。比較的小さなお店で、当日売り切りの和菓子は屋には売り切れてしまうことも。4席だけのイートインスペースもあります。ひがし茶屋街とは大通りをはさんで反対側のお店なので、隠れ家的にくつろげるのではないのでしょうか。



月天心

【月天心（火休+水不定休）10：00～19：00 品切れ次第閉店】

NPO法人
金澤町家研究会

【お問い合わせ】事務局

〒920-0831 金沢市東山2-1-7 ギャラリー椋内 Tel. 076-253-3517
E-mail kanazawa-machiya@nifty.com
http://kanazawa-machiya.net